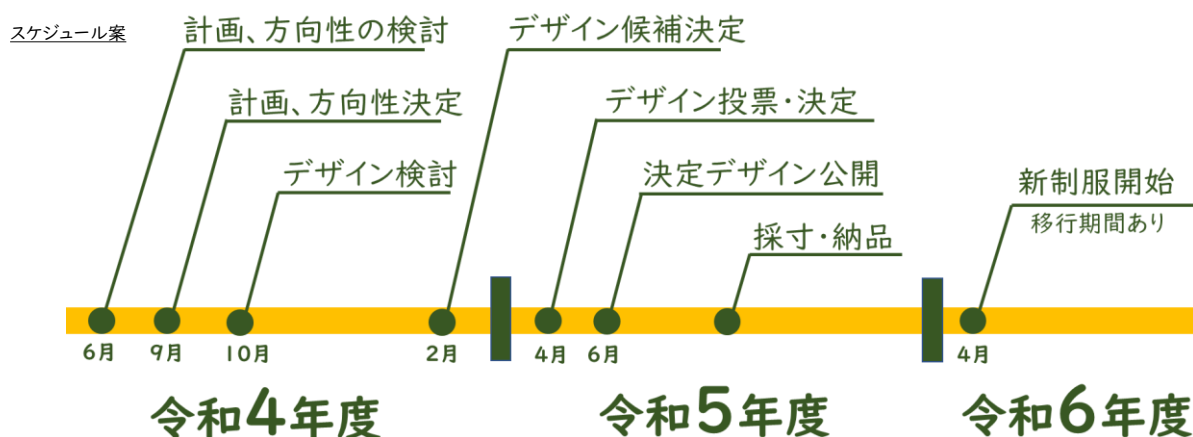




## 皆様からいただいた質問にお答えします。

**Q1** 具体的なスケジュールを教えてください。

**A1** 令和6年度の新制服導入を目指し、デザインの検討から決定、生地確保、制服の採寸、製造、納品までの具体的なスケジュールを調整しています。

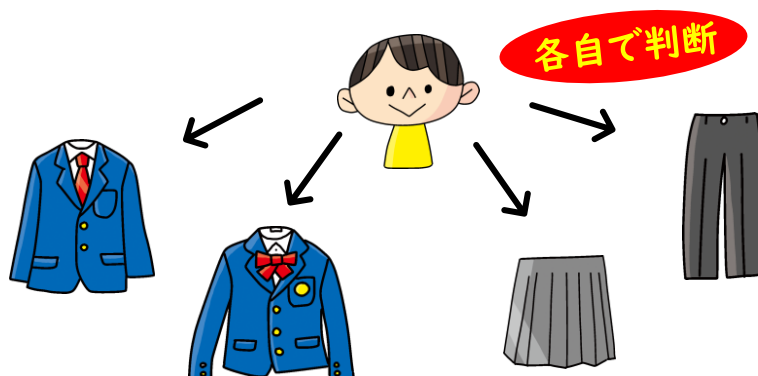


**Q2** 令和5年度に入学する子どもは、新しい制服を購入できないのですか？

**A2** 新しい制服を早くに着用したい子どもには大変申し訳ありませんが、新制服の導入は、早くても令和6年度です。具体的なデザインや素材などの検討をこれから始めることに加え、新型コロナウイルスの世界的な影響もあり、生地確保や制服の製造に時間がかかることが要因です。ただし、中学2年生や3年生が購入して着用することはできるようにする予定です。費用の負担が増えてしまいますが、希望がある場合は、新制服を購入してください。

**Q3** スカートやスラックス、リボン、ネクタイなどは選べるのですか。

**A3** 生徒が自分で考え、判断できることを大切にしたいと考えていますので、制服として準備したアイテムを自由に組み合わせて着こなすことができるような仕組みを考えています。また、生徒の判断を尊重し合う風土となるように、学校に働きかけていきます。



**Q4** なぜ制服を変えようと思ったのですか。また、なぜ共通仕様なのですか。

**A4** 主な理由は次の2つです。

①機能性

詰襟は気温に応じて着脱ができますが、セーラー服は着脱できません。季節によっては、朝寒く、日中は暑いということもあります。また、令和元年度、エアコンが整備されましたが、生徒によってはエアコンの風に寒さを感じています。気温の感じ方によって調整できる制服が必要であると考えました。

また、スカートについては、冬の寒さが指摘されています。また、自転車通学者にとっては、自転車に乗りにくいことも指摘されています。他にも様々な理由で、スラックスやスカートを選ぶことができることを希望する声は多いため、新しいデザインの制服が必要であると考えました。



②経済性

詰襟は、全中学校で共通デザイン(標準型)です。しかし、セーラー服は学校ごとにデザインが異なります。学校の独自性があるという良さもありますが、詰襟に比べ、価格帯に幅がなく、高価格です。また、夏服は専用のセーラー服であり、市販のワイシャツよりも高価です。これは、複数枚購入する家庭にとって大きな負担です。

学校ごとに制服を見直すことも考えましたが、生徒数が多い学校もあり、製造コスト高による販売価格の上昇を抑えるため、各学校長と協議の上、市内9中学校での共通デザインとすることが最適であると考えました。

**Q5** 制服の取り扱い業者はどのように決定するのですか？

**A5** 1つのメーカーが独占して制服を製造するのではなく、市が作成した仕様書をもとに、どのようなメーカーでも製造、販売できる仕組みを考えています。また、指定販売店という形態をとらないことで、自由競争の原理が働くことを期待しています。

なお、仕様書の決定までには、児童や生徒、保護者の皆様に、色や柄に対する意見を募集したり、候補となる複数のデザインを見ていただき、投票をお願いする予定です。

**検討状況はHPで発信していきます！**



意見フォーム